



門真四中だより

「つながる」「わかる」「切り拓く」

令和5(2023)年4月17日

第4号

編集・発行：校長 上甲 尚

明日は全国学力テスト。頑張れ、3年生！



明日(18日)、「全国学力・学習状況調査」(いわゆる全国学力テスト)が行われます。これは、小学6年生、中学3年生が対象となり、全国一斉に公立の小・中学校で実施されるものです。

調査の目的と範囲は以下のとおりです(文部科学省のホームページより)。

【目的】

- ①義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ②学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ③そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

【出題範囲】

調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等

9月頃に個票(個人の成績表)が返却されますので、生徒の皆さんは自分の学力や課題を知ることができ、以後の学習に活かすことができます。

今年度は、国語・数学・英語の3教科のテストがあります。英語については20日(木)に「話すこと」(5分程度)の調査も行います。難しい問題もあると思いますが、最後まであきらめずに、問題に立ち向かってください。すぐにあきらめて居眠りしたり、無回答は絶対にダメですよ!

3年生の皆さんが来年の2月、3月に受験する高校の入試問題も問題文が長く、しっかり読み取って自分の考えを文章で答えるような問題が多くなっています。その対策のためにも、今回の全国学力テストを真剣に、最後まで全力で取り組んでください。

【18日(火)の時間割】※「質問紙調査」は20日(木)に行います。

1時間目	2時間目	3時間目	4時間目	5時間目	6時間目
国語 (50分)	数学 (50分)	英語 (45分)	道徳	通常授業	通常授業

NEVER GIVE UP! ベストを尽くせ、3年生!

「おいしい言葉」をかけ合おう!

新年度がスタートして、1週間あまり経ちました。新しいクラスには慣れてきましたか?お互いに声をかけ合って、誰にとっても居心地のいいクラスにしていきましょう。少し前に読んだ、カウンセラーの方が書かれた本の中に「おいしい言葉を!」というコラムがありました。皆さんに紹介しますので、読んでみてください。

身体に合わないもの、痛んでいたものを食べると、私たちの身体はどうなりますか?お腹をこわす、吐き気をもよおす、熱が出る...などの症状が出てきますね。症状を減らす、またはなくすために、何を食べたからだろうと原因を探し、薬を飲んだり休んだりという治療をして、体の調子を取り戻していきますね。これを食べたから悪くなったんだということが分かれば、「食べないようにする」という選択ができ、身体の調子が悪くならないように予防ができます。

同じように身体に入ってくるもので、それによって体の調子が悪くなるものがあります。言葉がその一つにあたります。音は耳から自然に入ってくるものです。食べ物は自分で選択して食べないようにするということが容易にできますが、言葉はすべてを自分で選択することが非常に難しい。そして身体に合わない言葉によっても、私たちの身体は体調を崩していきます。いじめの種類の中に言葉によるいじめがあります。不快な言葉の数々と、その裏に込められた否定的な感情が一緒になって、聞いた相手の中に入っていきます。人それぞれ顔が違うように、言葉の受け止め方も個人差がありますが、不快な(まずい)言葉は相手が聞きさえすれば、確実に相手に入っていく、大なり小なり相手を傷つけるのです。

食べ物によって体調を崩したら、嘔吐や下痢などで外に出そうとしますね。言葉によって起こる体調の不調も、同じように出していかないと益々ひどくなってしまいます。少しでも良くするためには、誰かに話すこと、話せなかったら他の形で発散すること、そしてホッとしたり、スッキリしたり、温かな気持ちになれたり勇気付けられるような、薬になる言葉(おいしい言葉)をかけてもらうことです。

おいしい言葉をお互いにかけ合うことで、まずい言葉は少しずつ減っていきます。日常的に少しずつ一緒にやっていきましょう。挨拶やありがとうから...

(富田 薫・カウンセラー)



言葉ひとつで人は傷つきます。場合によっては体調を崩したり、学校に登校しにくくなったり、命に関わることさえあります。最近では、SNSやインターネットでの誹謗中傷ひぼうちゆうしょうが大きな問題になっています。

「ありがとう」「頑張ってるね」「大丈夫だよ」「ドンマイ」「応援してるよ」「その調子」「ファイト!」「やったね!」etc...。四中を「おいしい言葉」や「やさしい言葉」が飛び交う、温かい学校にしていきたいでしょう。